

体験用ポータルを開設

福山地域に集積するものづくり産業を観光資源と捉えた「産業観光」ツアーを、4月ごろから本格的に実施する福山観光旅行㈱（福山市丸之内、漆川治樹社長）。これと連動する形で昨秋、地元のものづくり企業が提供する体験活動

広島県内の「コロナ倒産」は、帝国データバンクのまとめによると昨年12月までで六五件。秋以降、備後圏でも徐々に増加している。コロナ禍以前から業績が悪化していた企業も目立つが、そうでない会社も足腰の強化は喫緊の課題だ。

その方策の一つが、自社オリジナルの製品やサービスの開発。成功すれば新規販路の開拓や、取引先からのOEM受注に依存する体質の改善が期待できる。自社ブランド確立を通じた知名度アップや人材確保につながるといったメリットもある。

本シリーズでは、独自商品に注力する備後圏の企業の取り組みを掘り下げる。



企業でできる体験を紹介するポータルサイトを制作した漆川社長

の予約ができるポータルサイト「みりよくザクザクふくやま」を開設した。スマートフォンからもパソコンからもアクセスできる。

染色加工の岩瀬商店㈱（同市胡町）はTシャツ染め体験、藤井製瓦工業㈱（御幸町）は瓦ぶき体験、皮革製品の㈱サード（多治米町）は革製キーホルダー作り、ひつぎメーカー

電動自転車も導入

また高性能な電動自転車二台を、県観光連盟の補助金を活用して購入した。「近場の周遊観光を楽しむ手段になれば」と、電話で予約を受け一日四〇〇〇円でレンタルする。駅前の同社から車の浦まで、楽に往復できるという。

の（㈱共栄（新市町））は入棺体験と、多彩なメニューがそろう（現在は受け付けを一時停止中）。

有料の体験を仲介することでも、福山観光旅行にも手数料が入る仕組みだ。「予約サイトがあれば、情報発信を含めてスムーズに体験を実施できる。サイトで参加企業をPRし、若者の地元での就職につなげたい」と漆川社長。

「自社商品」で強くなれ!②

日本畜産、一貫生産でブランド豚の加工品続々

自社牧場が大きな強み

食肉加工・販売の日本畜産㈱（同市引野町、小林茂之社長）は、同市瀬戸町に牧場を持ち、飼料と環境にこだわっ

「福山の素晴らしい産業を市内外に知らしめるだけでなく、取り組みを通じて企業間の交流も促進し、まちを活性化できたら」。地場企業でのインターンシップを望む学生・学校向けに宿泊型のプログラムも開発中で、幅広い層の取り込みを目指す。



高性能な電動自転車での周遊観光も提案する